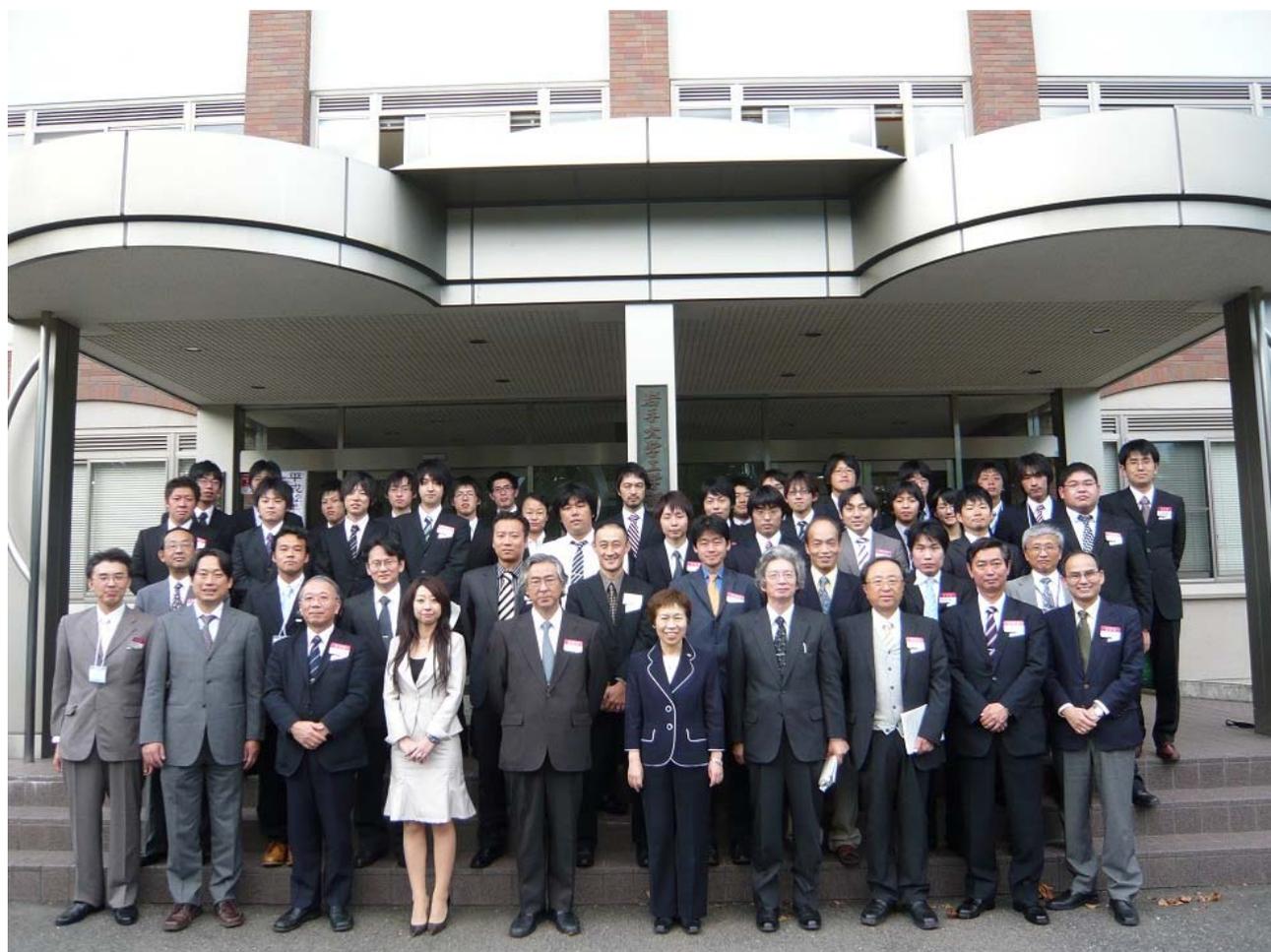


平成 22 年度化学系学協会東北大会

報告書



会 期 2010 年 9 月 25 日(土)～26 日(日)
会 場 岩手大学工学部(〒020-8551 岩手県盛岡市上田 4-3-5)
主 催 日本化学会東北支部
高分子学会東北支部
日本分析化学会東北支部
化学工学会東北支部
有機合成化学協会東北支部
電気化学会東北支部
日本材料学会東北支部
繊維学会東北北海道支部
無機マテリアル学会北部支部



平成 22 年度化学系学協会東北大会実行委員会
栗原和枝支部長を囲み、学生アルバイトとともに

日本化学会東北支部長

栗原和枝（東北大学・教授）

栗原和枝

平成 22 年度化学系学協会東北大会実行委員長

熊谷直昭（岩手大学・教授）

熊谷直昭

2010年9月26日

平成22年度 化学系学協会東北大会

■ 会期 9月25日(土)・26日(日) ■ 会場 岩手大学工学部
(〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5)

主催: 日本化学会東北支部・高分子学会東北支部・電気化学会東北支部・
日本分析化学会東北支部・化学工学会東北支部・有機合成化学協会東北支部・
日本材料学会東北支部・繊維学会東北北海道支部・無機マテリアル学会北部支部

化学教育研究協議会東北大会

■ 会期 9月26日(日) ■ 会場 岩手大学工学部
(〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5)

主催: 日本化学会東北支部・化学教育研究協議会東北支部
後援: 岩手県教育委員会・盛岡市教育委員会

講演

◆ 特別講演

岩澤 康裕氏 (日本化学会会長・電気通信大学教授
・東京大学名誉教授)
「**弛まぬ科学・技術の創成と21世紀の化学**」
押谷 政彦氏 (株式会社ブルーエナジー 取締役社長)
「**低炭素技術社会を目指して リチウムイオン電池**」

◆ 招待講演

各学協会からの推薦による
現在脚光を浴びているテーマで約10件

◆ 依頼講演

各学協会からの推薦による研究者講演で約20件

◆ 一般講演

化学系学協会東北大会: ポスター発表
(優秀発表者には選考を経てポスター賞を授与)
化学教育研究協議会東北大会: 口頭発表、ポスター発表

◆ 特別企画

有機化学コロキウム
物理化学コロキウム -材料と生体系のスピ科学-
高分子コロキウム -高分子ナノ粒子の開発と応用展開-

*平成22年度化学系学協会東北大会では一般講演の口頭発表を行いません。
*口頭発表は講演者持参のコンピューターによりプロジェクトを利用。

懇親会 (両大会合同)

◆ 日時: 9月25日(土) 18時より

◆ 会場: ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING
住 所: 〒020-0033
岩手県盛岡市盛岡駅前北通2-27
電 話: 019-625-1211

会費 事前登録: 一般 6,000円, 学生 4,000円
当日登録: 一般 7,000円, 学生 5,000円

化学系学協会東北大会申込方法

- ◆ 発表申込締切: 6月11日(金)
- ◆ 発表予稿原稿締切: 8月6日(金)
- ◆ 事前参加登録締切: 8月27日(金)

参加登録費

事前登録: 一般 4,000円, 学生 2,000円
(いずれも予稿集代を含む)
当日登録: 一般 5,000円, 学生 3,000円
(いずれも予稿集代を含む)

発表申込および事前参加登録申込の詳細については、
日本化学会東北支部ホームページをご参照下さい。
URL: <http://tohoku.chemistry.or.jp/>

化学教育研究協議会東北大会申込方法

- ◆ 発表申込締切: 6月25日(金)
- ◆ 発表予稿原稿締切: 8月20日(金)
- ◆ 事前参加登録締切: 8月27日(金)

参加登録費 一般 1,000円, 学生 500円
(いずれも予稿集代を含む、当日徴収)

発表申込は下記宛での電子メールにて受け付けます。

申込先: 〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-33
岩手大学教育学部 理科化学 武井隆明
ttakei@iwate-u.ac.jp
電 話: 019-621-6551

発表申込および事前参加登録申込の詳細については、
「化学と教育」と「化学と工業」の5月号および
日本化学会東北支部ホームページをご参照下さい。

問い合わせ先

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学多元物質科学研究所内 日本化学会東北支部
TEL: 022-224-3883 E-mail: nikka@m.tains.tohoku.ac.jp
ホームページ: <http://tohoku.chemistry.or.jp/>

平成22年度化学系学協会東北大会ポスター
村岡宏樹氏(岩手大工)作

目 次

1. はじめに.....	4
2. 各会場の講演状況	9
3. 懇親会	26
4. 受賞式	29
5. 閉会式	31
6. おわりに.....	32

1. はじめに

平成 22 年度化学系学協会東北大会(通算 65 回目)が、平成 22 年 9 月 25 日(土)、26 日(日)の 2 日間にわたり、岩手大学工学部で開催された。幸い天候が大きく崩れず、比較的過ごしやすい日々であった。今回の発表件数は特別講演やコロキウムを含めて 375 件(内訳は 7 頁)、参加者数は 522 名(内学生 293 名、内訳は 8-9 頁)で、8 の会場で活発に討論が展開された。関連する他学協会の学術講演会と開催時期が重なったにもかかわらず、多くの方々にご参加いただき、盛況であったことは実行委員会にとって、大変うれしいことであった。

1.1 運営と本大会の特色

大会運営と本大会の特色を以下に示す。

1) 主催・共催の形式の変更

前回まで 9 学協会の共催であったが、本大会では主催となった。

2) 会期の短縮

平成 16 年度の岩手大会から会期が 3 日間であったが、2 日間に短縮した。

3) 一般講演での口頭発表の廃止

会期の短縮に伴い、一般講演での口頭発表を廃止し、ポスター発表のみとした。

4) 特別企画の開催

若手研究者支援や専門分野を分かりやすく紹介することを目的として、特別企画(実行委員会特別企画、若手シンポジウム、生体分子化学)を用意し、全て依頼講演の形式で開催した。

5) 優秀ポスター賞の実施と授賞式・閉会式の開催

平成 21 年度大会にて試行したが、本大会から本格的に開催した。それに伴い、閉会式の中で、授賞式を開催した。

6) セッションオーガナイザーの情報をホームページ上に公開

招待講演・依頼講演は各学協会の主導で選出・企画するものなので、セッションオーガナイザーの尽力に対する謝礼の意味を込めて、ホームページ上に情報を公開した。

7) 報告書の作成

次年度に向けて、本大会の実施状況を多くの方々に伝えるため、本報告書を作成することとした。

1.2 特別講演、招待・依頼講演ならびにポスター発表

大会の目玉となる特別講演は、日本化学会会長の岩澤康裕氏による「弛まぬ科学・技術の創成と 21 世紀の化学」と株式会社ブルーエナジー専務取締役の三森正仁氏による「低炭素技術社会を目指して、リチウムイオン電池」の 2 件であった。両講演とも多くの方々が非常に熱心に聴講されていたのがとても印象的であった。

招待講演は各学協会からの推薦による現在脚光を浴びているテーマを 21 件(コロキウムの 12 件を含む)、依頼講演は各学協会からの推薦による研究者講演で 35 件(特別企画の 16 件を含む)、ポスター発表 317 件の発表が行われた。招待・依頼講演は専門分野ごとに 7 会場に分かれ、それぞれの講演に対して活発な質疑討論が行われた。また、ポスター発表会場においても、多くの参加者で賑わい、活発な質疑応答が行われた。

1.3 特別企画

本大会では、大会 1 日目に「若手シンポジウム」、大会 2 日目に「実行委員会特別企画—未来に資する新型電池—」と「生体分子化学」の特別企画が、また大会 2 日目にコロキウム(高分子化学、物理化学「生体系のスピン科学」、有機化学の 3 テーマ)も同時開催された。いずれの講演者もそれぞれの分野の第一線で活躍されている研究者であり、その分野の最先端の研究に触れることができる貴重な機会となった。

1.4 懇親会

懇親会は、1 日目の 18 時からホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING で開催された。熊谷直昭大会実行委員長、栗原和枝日本化学会東北支部長(9 学協会支部長を代表して)、猪股 宏化学教育協議会東北支部議長、岩澤康裕会長の挨拶のあと、堺 茂樹岩手大学工学部長の乾杯により宴が始まった。122 名(招待者 5 名を含む)の参加者数があり、盛岡県内の日本酒を楽しみながら、懇親を深めることができた。会の終わりで、川島信之日本化学会常務理事、及川英俊次期大会実行委員長、ならびに河野裕彦次期支部長の挨拶があり、盛会の内にお開きとなった。

1.5 授賞式・閉会式

2日目午後には、優秀ポスター賞の授賞式と閉会式が行われた。河田裕樹氏(岩手大人文社)の司会によって進行され、熊谷直昭大会実行委員長の開会挨拶と栗原和枝支部長の講評(9学協会支部長を代表して)が行われた。そのあと、ポスター発表総数317件の内、厳選なる審査の結果、優秀ポスター賞42件が発表された。受賞者には、栗原和枝支部長より記念の賞状が授与され、多くの参加者から大きな拍手が送られた。最後に、及川英俊次期大会実行委員長が次期大会に向けての抱負を語られ、盛会の内にお開きとなった。

1.6 資料の配布

資料の配布コーナーを大会受付に設置し、「全国高校化学グランプリ」ならびに「国際化学オリンピック」のPR資料、「個人正会員の入会促進キャンペーン」の資料を用意した。大会受付前という場所もあり、多くの参加者が立ち止まって、関心を示していた。

1.7 おわりに

D会場でプロジェクターの不具合が発生し、講演者および参加者にご迷惑をおかけした。この場を借りて深くお詫び申し上げたい。次期大会の大会実行委員会に引き継いでいきたい。

会場となった岩手大学の関係各位に紙面を借りてお礼を申し上げたい。経済的支援について、実行委員の清水健司氏(岩手大工)の尽力により、5つの会員外企業・団体から講演予稿集への広告掲載という形でご支援を得ることができた。また、39名の学生アルバイト諸君は、大会前日の準備から最終日の後片付けまで、終始熱心にその責務を果たして頂いた。この大会を支えて頂いた関係各位に深く感謝を申し上げたい。



特別講演(岩澤康裕日本化学会会長)



1日目のD会場

平成 22 年度化学系学協会東北大会の講演発表件数

分類	招待講演	依頼講演	ポスター発表
特別講演	2	0	0
一般) 無機化学	1	1	11
一般) 分析化学	2	2	22
一般) 物理化学	0	0	29
一般) 有機化学	1	3	102
一般) 工業化学	0	0	7
一般) 高分子化学	1	3	34
一般) 化学工学	1	3	12
一般) 材料化学	1	3	44
一般) 電気化学	1	3	43
一般) 環境化学	0	0	13
一般) 繊維化学	1	1	0
実) 未来に資する新型電池	0	6	0
特) 若手シンポジウム	0	4	0
特) 生体分子化学	0	6	0
高分子コロキウム	3	0	0
物理化学コロキウム	5	0	0
有機化学コロキウム	4	0	0
計	23	35	317

一般)一般発表, 実)実行委員会特別企画, 特)特別企画

地域別参加者集計結果(東北6県)

県	一般事前	一般当日	一般合計	学生事前	学生当日	学生合計
秋田県/合計14名						
秋田大工学資源	5	4	9	2	3	5
青森県/合計42名						
弘前大学	8	0	8	11	3	14
八戸工大	3	0	3	2	5	7
八戸高専	2	2	4	4	1	5
青森県産業技術セ	1	0	1	0	0	0
岩手県/合計96名						
岩手大学	25	0	25	48	6	54
岩手医科大	1	0	1	0	0	0
一関高専	2	4	6	1	3	4
いおう化学研究所	0	2	2	0	0	0
(株)朝日ラバー	0	2	2	0	0	0
岩手県工業技術セ	1	0	1	0	0	0
(株)東亜電化	0	1	1	0	0	0
福島県/合計59名						
いわき明星大	4	1	5	9	0	9
福島大	2	2	4	5	0	5
日大	9	3	12	17	2	19
福島医科大	1	0	1	0	0	0
ソニーエナジー・デバイス(株)	1	0	1	0	0	0
(株)ファインラバー研究所	0	1	1	0	0	0
(株)ファイマテック	0	1	1	0	0	0
(株)朝日ラバー	0	1	1	0	0	0
宮城県/合計157名						
東北大学	46	16	62	59	14	73
石巻専修大	5	0	5	11	0	11
東北薬科大	1	0	1	0	0	0
宮城教育大	1	0	1	1	0	1
産総研	1	3	4	0	0	0
山形県/合計115名						
山形大学	21	12	33	69	8	77
鶴岡高専	3	0	3	2	0	2
山形県工業技術セ	1	0	1	0	0	0
合 計			199			286

東北6県参加登録者数:485名

地域別参加者集計結果(東北6県以外)

県	一般事前	一般当日	一般合計	学生事前	学生当日	学生合計
東京都/合計9名						
東京工業大	1	1	2	0	1	1
国土館大	0	1	1	0	0	0
電気通信大	1	0	1	0	0	0
日本化学会	1	0	1	0	0	0
学習院大	1	0	1	0	0	0
日産化学工業(株)	0	2	2	0	0	0
神奈川県/合計11名						
神奈川工科大	0	1	1	0	3	3
神奈川大	3	0	3	1	0	1
横浜国立大	1	0	1	0	0	0
関東学院大	1	0	1	0	0	0
理化学研究所	1	0	1	0	0	0
茨城県/合計3名						
筑波大	0	0	0	2	0	2
産総研(つくば)	1	0	1	0	0	0
大阪府/合計2名						
大阪大	1	0	1	0	0	0
大阪市立工業研	1	0	1	0	0	0
埼玉県/合計3名						
埼玉大	1	0	1	0	0	0
(株)朝日ラバー	0	1	1	0	0	0
楠本化成(株)	0	1	1	0	0	0
静岡県/合計1名						
静岡大	1	0	1	0	0	0
京都府/合計1名						
(株)ブルーエナジー	1	0	1	0	0	0
長野県/合計1名						
信州大	1	0	1	0	0	0
兵庫県/合計2名						
神戸大	1	0	1	0	0	0
住友ゴム工業(株)	0	1	1	0	0	0
福井県/合計1名						
福井大	0	1	1	0	0	0
福岡県/合計1名						
新日本製鐵(株)	1	0	1	0	0	0
岐阜県/2名						
日本合成化学工業(株)	0	2	2	0	0	0
			30			7

東北県外参加者数:37名

大会タイムスケジュール

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	P会場
25日 午前		10:00~12:00 【高分子化学】 招待講演 1名 依頼講演 3名	10:00~12:00 【電気化学】 招待講演 1名 依頼講演 3名	10:00~12:00 【有機化学】 招待講演 1名 依頼講演 3名	10:00~12:00 【若手シンポジウム】 依頼講演 4名		10:00~12:00 【化学工学】 招待講演 1名 依頼講演 3名	
25日 昼	【東北支部幹事会及び会長との懇談会】11:00~12:30 (工学部食堂1F)							
25日 午後								13:00~14:20 ポスター第1部
	14:30~15:30 【特別講演】 日本化学会 会長講演							15:40~17:00 ポスター第2部
25日 夜	【懇親会】 18:00~20:00 (ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING)							
26日 午前	9:00~12:00 【実行委員会特別企画】 依頼講演 6名	9:00~10:00 【繊維化学】 招待・依頼各1名	9:30~12:30 【物理化学コロキウム】 招待講演 5名 共催 日本分光学会東北支部	9:00~11:00 【有機化学コロキウム】 招待講演 4名 共催 有機合成化学協会東北支部	9:00~12:00 【生体分子化学】 依頼講演 6名	9:00~10:00 【無機化学】 招待・依頼各1名	9:00~12:00 【分析化学・環境科学】 *みちのくセミナー* 招待講演2名 依頼講演2名 共催 日本分析化学会東北支部	
		10:00~12:00 【高分子コロキウム】 招待講演 3名 共催 高分子学会東北支部				10:00~12:00 【材料化学】 招待講演 1名 依頼講演 3名		
26日 午後								
	13:15~14:15 【特別講演】 三森正仁氏							
	14:30~15:00 授賞式・閉会式							
教室(座席数)	テクノホール(289)	13番教室(99)	16番教室(121)	17番教室(232)	22番教室(99)	23番教室(99)	24番教室(112)	第1体育館

2. 各会場の講演状況

A会場 9月25日(土)・26日(日) 特別講演

セッションオーガナイザー: 栗原和枝(東北大多元研), 熊谷直昭(岩手大工)

9月25日(土) : 座長 栗原和枝(日本化学会東北支部長・東北大多元研)
岩澤康裕(日本化学会会長・電気通信大学教授・東京大学名誉教授)
「弛まぬ科学・技術の創成と21世紀の化学」

9月26日(日) : 座長 熊谷直昭(大会実行委員長・岩手大工)
三森正仁(株式会社ブルーエナジー専務取締役)
「低炭素技術社会を目指して, リチウムイオン電池」



岩澤康裕氏(日本化学会会長)の特別講演(1)



岩澤康裕氏(日本化学会会長)の特別講演(2)



三森正仁氏(ブルーエナジー)の特別講演(1)



三森正仁氏(ブルーエナジー)の特別講演(2)

A会場 9月26日(日) 実行委員特別企画 「未来に資する新型電池」

セッションオーガナイザー: 熊谷直昭(岩手大工), 宇井幸一(岩手大工)

依頼講演: 河村純一(東北大多元研)「リチウム電池の NMR マイクロイメージング」

依頼講演: 立花和宏(山形大工)「電池の中の電気を流さない電池部材の大切な働き」

依頼講演: 京谷 隆(東北大多元研)「ナノシリコン/炭素複合体からなるリチウム二次電池用負極材料の合成」

依頼講演: 水畑 穰(神戸大院工)「電池材料に対する液相析出法の適用」

依頼講演: 佐藤貴哉(鶴岡高専)「電池の高安全性と高電圧化を実現するための微粒子集積ポリマー電解質」

依頼講演: 脇原将孝(元東京工業大)「安全性を目指した大型リチウムイオン電池の開発」



河村純一氏(東北大多元研)



立花和宏氏(山形大工)



京谷 隆氏(東北大多元研)



水畑 穰氏(神戸大院工)



佐藤貴哉氏(鶴岡高専)



脇原将孝氏(元東京工業大)

B会場 9月25日(土) 高分子セッション

セッションオーガナイザー: 正田晋一郎(東北大院工)

招待講演: 金原 数(東北大多元研)「高分子化合物の超分子化学を利用した機能性物質の創製」

依頼講演: 根本修克(日大工)「ポリシラリレーンシロキサン誘導体の光学特性」

依頼講演: 野口真人(東北大院工)「水溶性脱水縮合剤を用いる遊離糖鎖からの多糖合成」

依頼講演: 羽場 修(山形大工)「5員環環状カーボネートの開環重合性に及ぼす立体構造の影響」



根本修克氏(日大工)



野口真人氏(東北大院工)



金原 数氏(東北大多元研)



羽場 修氏(山形大工)

B会場 9月26日(日) 繊維化学セッション
セッションオーガナイザー:岡田修司(山形大院理工)

招待講演:寺境光俊(秋田大院工学資源)「分岐点密度を制御した縮合系多分岐高分子の合成」

依頼講演:松葉 豪(山形大院院理工)「高分子の延伸過程における構造形成過程」



寺境光俊氏(秋田大院工学資源)



松葉 豪氏(山形大院院理工)

B会場 9月26日(日) 合同開催 高分子コロキウム 共催:高分子学会東北支部
セッションオーガナイザー: 沢田英夫(弘前大院理工)

川口正剛(山形大院理工)「フルカラー電子ペーパー用高分子微粒子の設計」

松川公洋(大阪市立工業研究所)「ナノ粒子分散有機無機ハイブリッドの作製と光電子材料への応用」

沢田英夫(弘前大院理工)「フッ素系高分子ナノ粒子の調製とその応用」



川口正剛氏(山形大院理工)



松川公洋氏(大阪市立工業研究所)



沢田英夫氏(弘前大院理工)

C会場 9月25日(土) 電気化学セッション
セッションオーガナイザー: 珠玖 仁(東北大院環境)

招待講演: 山下嗣人(関東学院大工)「電気化学的手法による表面・界面の制御—機能膜の創製と解析」

依頼講演: 秋葉宇一(秋田大工学資源)「アダマンタン自己組織化単分子膜に基づくバイオ機能界面の分子構築をめざして」

依頼講演: 雨澤浩史(東北大院環境)「X線吸収分光法を用いた固体酸化物形燃料電池における電極反応のその場測定」

依頼講演: 明 承澤(岩手大工)「リチウム二次電池用正極材料の精密合成と表面修飾」



山下嗣人氏(関東学院大工)



秋葉宇一氏(秋田大工学資源)



雨澤浩史氏(東北大院環境)



明 承澤氏(岩手大工)

C会場 9月26日(日) 合同開催 物理化学コロキウム 共催:日本分光学会東北支部
セッションオーガナイザー:山内清語(東北大多元研)

松岡秀人(東北大多元研)「高周波 ESR による光合成電子伝達系のスピンドYNAMICS」

小堀康博(静岡大理)「電子スピン分極を利用したタンパク質の立体構造解析」

荒田敏昭(大阪大院理)「ESR によるタンパク質間相互作用と多量体構造の解析」

内藤 晶(横浜国大院工)「固体 NMR による生体分子の構造機能相関の解明」

山崎俊夫(理研)「電子スピンの助けを借りた蛋白質の核磁気共鳴法」



松岡秀人氏(東北大多元研)



小堀康博氏(静岡大理)



荒田敏昭氏(大阪大院理)



内藤 晶氏(横浜国大院工)



山崎俊夫氏(理研)

D会場 9月25日(土) 有機化学セッション

セッションオーガナイザー: 山口雅彦(東北大院薬)

招待講演: 桑原重文(東北大院農)「特異な環構造を有する生物活性天然物の合成研究」

依頼講演: 稲本浄文(東北大院薬)「パラジウム触媒による炭素-水素結合官能基化を利用した複素環合成」

依頼講演: 岡田正弘(東北大院理)「植物毒素コロナチンの合成と植物気孔開口活性」

依頼講演: 片桐洋史(山形大院理工)「硫黄原子を含む非対称型縮環化合物の合成と特性評価」



桑原重文氏(東北大院農)



稲本浄文氏(東北大院薬)



岡田正弘氏(東北大院理)



片桐洋史氏(山形大院理工)

D会場 9月26日(日) 合同開催 有機化学コロキウム 共催:有機合成化学協会東北支部
セッションオーガナイザー:岩本武明(東北大院理)

小川 智(岩手大工)「高性能有機薄膜トランジスタの開発」

金原 数(東北大多元研)「分子間で動きを伝える精密分子機械の設計」

斎藤雅一(埼玉大学)「炭素 π 電子系骨格にスズや鉛を含む芳香族化合物の合成、構造及び反応」

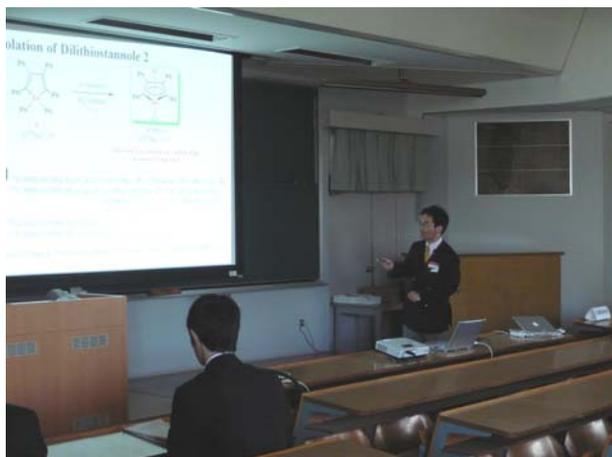
及川英俊(東北大多元研)「有機ナノ結晶のハイブリッド化と光デバイス用素材への展開」



小川 智氏(岩手大工)



金原 数氏(東北大多元研)



斎藤雅一氏(埼玉大学)



及川英俊氏(東北大多元研)

※平成21年度日本化学会学術賞受賞講演

E会場 9月25日(土) 特別企画 ー若手シンポジウムー

セッションオーガナイザー:根本修克(日大工), 芝崎祐二(岩手大工)

依頼講演:七尾英孝(岩手大工)「飛行時間型二次イオン質量分析計を用いた摩擦界面の解析」

依頼講演:藤森厚裕(山形大院理工)「超薄分子組織膜の構造化学」

依頼講演:角田世治(青森産業技術セ)「層状粘土鉱物を活用した光触媒ナノ粒子合成とその活性」

依頼講演:平野展孝(日大工)「無細胞蛋白質合成系を用いた蛋白質・酵素の研究」



七尾英孝氏(岩手大工)



藤森厚裕氏(山形大院理工)



角田世治氏(青森産業技術セ)



平野展孝氏(日大工)

E会場 9月26日(日) 特別企画 一生体分子化学セッション

セッションオーガナイザー: 春木 満(日大工), 嶋田和明(岩手大工)

依頼講演: 上田 実(東北大院理)「生物現象を誘起する天然物の作用機構」

依頼講演: 木島龍朗(山形大院理工)「沈殿系における酵素を用いたアミノ酸エステルの動的速度分割」

依頼講演: 大谷典正(山形大理)「菌類の生産する天然ゴム生合成機構解析」

依頼講演: 梅津光央(東北大院工)「低エネルギー負荷社会を指向した蛋白質デザイン」

依頼講演: 杉森大助(福島大理工)「リン脂質加水分解酵素の開発と触媒機構解明を目指して」

依頼講演: 石原 務(日大工)「生分解性高分子を用いたナノ粒子製剤の開発」



上田 実氏(東北大院理)



木島龍朗氏(山形大院理工)



大谷典正氏(山形大理)



梅津光央氏(東北大院工)



杉森大助氏(福島大理工)



石原 務氏(日大工)

F会場 9月26日(日) 無機化学セッション
セッションオーガナイザー: 石田秀輝(東北大院環境)

招待講演: 鵜沼英郎(山形大院理工)「水溶液を反応場とするセラミック材料の合成: 形態制御と応用」

依頼講演: 前田浩孝(東北大院環境)「水熱法の制御によるケイ酸カルシウム水和物の新展開」



前田浩孝氏(東北大院環境)



鵜沼英郎氏(山形大院理工)

F会場 9月26日(日) 材料化学セッション
セッションオーガナイザー: 上原拓也(山形大院理工)

招待講演: 笹川和彦(弘前大院理工)「電子デバイスと生体の材料システムを評価する」

依頼講演: 譯田真人(岩手大工)「非晶質金属の微視的内部構造と変形機構: 計算機モデルによるアプローチ」

依頼講演: 鈴木 研(東北大院工)「異種材料界面におけるひずみ誘起劣化損傷メカニズムに関する計算化学的検討」

依頼講演: 村澤 剛(山形大院理)「双晶変形の発生と進展のメカニズム」



笹川和彦氏(弘前大院理工)



譯田真人氏(岩手大工)



鈴木 研氏(東北大院工)



村澤 剛氏(山形大院理)

G会場 9月25日(土) 化学工学セッション

セッションオーガナイザー:横田政晶(岩手大工)

招待講演:二階堂 満(一関高専)「粉体技術とバイオマス資源の有効活用」

依頼講演:横田政晶(岩手大工)「有機結晶の構造制御」

依頼講演:長尾大輔(東北大院工)「クリーンプロセスによる機能性複合粒子の合成と形態制御」

依頼講演:高橋 博(秋田大院工学資源)「米糠利用技術の開発と有用物質生産への応用」



横田政晶氏(岩手大工)



二階堂 満氏(一関高専)



長尾大輔氏(東北大院工)



高橋 博氏(秋田大院工学資源)

G会場 9月26日(日) 分析・環境化学セッション — みちのくセミナー — 共催:日本分析化学会東北支部

セッションオーガナイザー:福島美智子(石巻専修大理工)

招待講演:村松康行(学習院大理)「ヨウ素の分析法の開発と環境・地球化学への応用」

依頼講演:北爪英一(岩手大人文社)「遠心力と二相分配系を利用した向流クロマトグラフによる環境試料の分析とモニタリング」

依頼講演:岩田吉弘(秋田大教)「微小な生体試料をターゲットとする粒子励起X線分光分析」

依頼講演:高橋 透(東北大院環境)「分離機能化学的アプローチに基づく環境計測」



村松康行氏(学習院大理)



北爪英一氏(岩手大人文社)

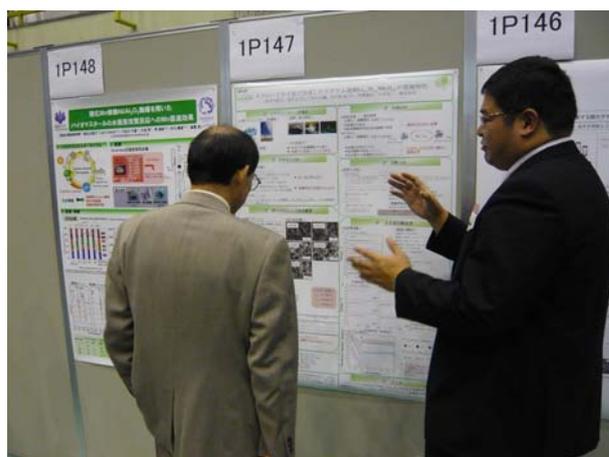


岩田吉弘(秋田大教)

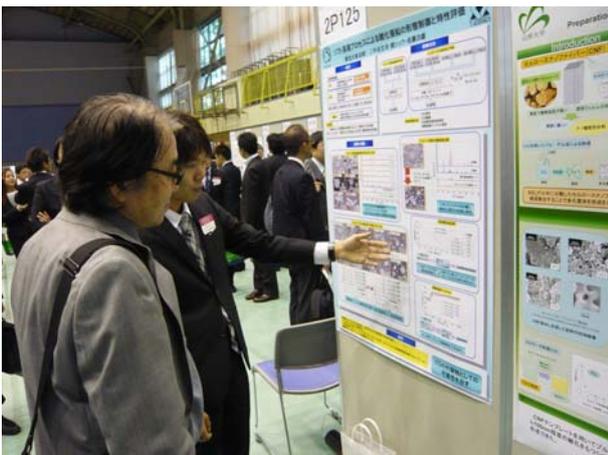
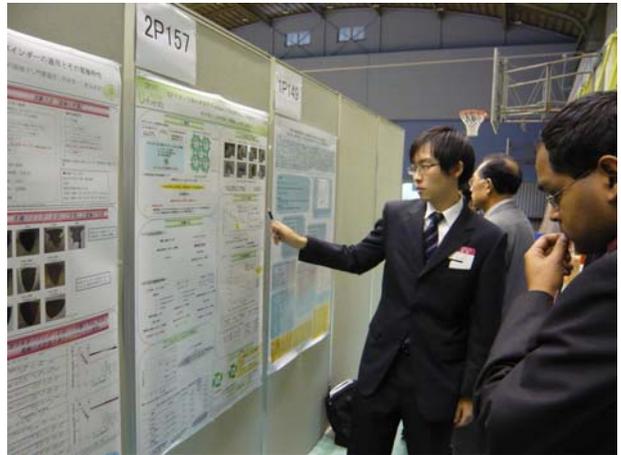
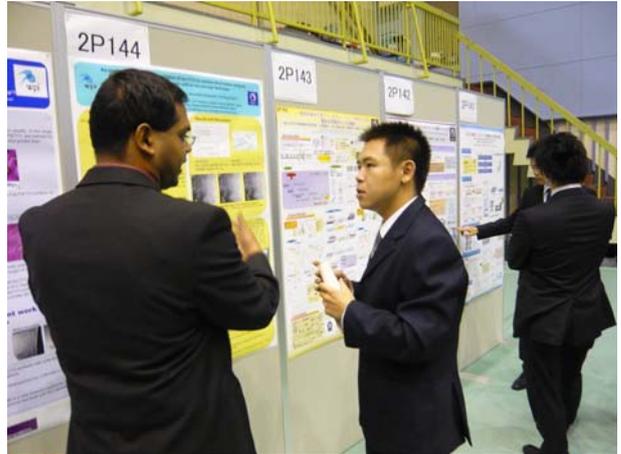


高橋 透氏(東北大院環境)

ポスターセッション(1) 9月25日(土)



ポスターセッション(2) 9月25日(土)



3. 懇親会

懇親会(1) 9月25日(土)

1. 大会実行委員長(熊谷直昭教授・岩手大学工学部)の開会挨拶
2. 日本化学会東北支部長(栗原和枝教授・東北大学多元物質科学研究所)の挨拶(9学協会支部長を代表して)
3. 化学教育協議会東北支部議長(猪股 宏教授・東北大学大学院工学研究科)の挨拶
4. 日本化学会会長(岩澤康裕教授・電気通信大学情報理工学部)の挨拶
5. 来賓(堺 茂樹教授・岩手大学工学部長)による乾杯の音頭
— 歓談 —
6. 日本化学会常務理事(川島信之氏)の挨拶
7. 次期大会実行委員長(及川英俊教授・東北大学多元物質科学研究所)の挨拶
8. 次期支部長(河野裕彦教授・東北大学大学院理学研究科)の挨拶



受付にて
菊地珠実さん(事務局)と七尾英孝氏(岩手大工)



岩手大学管弦楽団による生演奏



この日の主役?!



司会:南 一郎氏(岩手大工)

懇親会(2) 9月25日(土)



熊谷直昭 大会実行委員長



栗原和枝 日本化学会東北支部長



猪股 宏 化学教育協議会東北支部議長



岩澤康裕 日本化学会会長



堺 茂樹 岩手大学工学部長



堺 茂樹氏による乾杯のご発声

懇親会(3) 9月25日(土)



歓談の様子



歓談の様子



会場の様子



川島信之 日本化学会常務理事兼事務局長



及川英俊 次期大会実行委員長



河野裕彦 次期支部長

4. 授賞式

受賞式 9月26日(日)

今大会では、ポスター発表総数 317 件の内、厳選なる審査の結果、下記 42 件を優秀ポスター賞に選定しました。受賞者には、栗原支部長より記念の賞状が授与されました。

【無機化学】

「混合配位子ルテニウム-硫黄クラスターの合成と性質」佐藤奏一郎(福島大理工)
「カーボンナノスフェアを鋳型とする層状複水酸化物の合成」菅 大輔(岩手大院工)

【分析化学】

「抹茶に含まれる元素のバイオアクセシブルな割合の評価」齊藤諒輔(石巻専修大理工)
「国産緑茶および飲用緑茶の多元素分析」佐々木 涼(石巻専修大理工)
「窒素ガス吸着測定における BET 表面積および BJH 細孔分布解析の問題点-mesopore シリカゲルの場合-」藤田大策(福島大理工)

【物理化学】

「共振ずり測定法による制限空間におけるイオン液体の特性評価」南野 裕(東北大多元研)
「H/D 同位体置換法中性子回折によるピリジン分子の水和構造解析」亀田恭男(山形大理工)
「低温マトリックス中における亜硝酸メチル-塩化水素錯体の振動スペクトル」清水津志(岩手大院工)
「金属-分子気相錯体イオンにおける光解離反応の画像観測」星野浩志(東北大院理)

【有機化学】

「C-H を認識部位として有する 2,2'-ビナフタレン誘導体によるアニオン認識」近藤慎一(山形大理工)
「ジシラニル二重架橋ビスアントラセン:OLED デバイスにおける両極性キャリア輸送材料」中西和嘉(東北大院理)
「トリプタンスリン誘導体による FRET 型金属イオン用蛍光センサー」川上 淳(弘前大院理工)
「タンパク質による真珠バイオミネラルリゼーション制御の分子メカニズム」小川智久(東北大院生命)
「カーボンナノチューブセグメント構築を目指した環状アセチレン化合物の合成」工藤 俊(弘前大院理工)
「カーボンナノ試験管内への DNA 濃縮とその可逆的な放出」千川康人(東北大多元研)
「環状デブシペプチド Destruxin E の全合成」石田恵崇(東北大院薬)
「Smectic E 相を示すアズレン誘導体の合成」上田真央(弘前大院理工)
「強力な電子求引性基を有するカルベン配位子の合成」吉岡大輔(東北大院工)
「キラル補助基を有するフルオラスレゾルシンアレーンの合成とその自己組織化」袴田祐介(日大生産工)
「光学活性なシクロヘキセン誘導体の X 線結晶構造解析」加藤 茜(山形大院理工)
「ウンデカプレニルニリン酸合成酵素の反応機構」田崎史也(山形大)

【工業化学】

「分子状薄膜のトライボロジー特性に対する有機汚染物質の化学的影響」角田純平(岩手大院工)

【高分子化学】

「高分子ナノシート集積体を用いた微小共振器における CdSe ナノ粒子の発光増強」森田晋平(東北大多元研)
「硫黄含有シルセスキオキサン微粒子の合成と特性解析」高橋幸平(山形大院理工)
「プロトン伝導性イオン液体モノマーのリビングラジカル重合と燃料電池用電解質への応用」本間大海(鶴岡高専)
「長鎖アルキル鎖含有トリアジン系ポリイミドの合成と性質」川畑邦央(岩手大工)

【化学工学】

「結晶化による有機/有機ゲスト分子コンフォメーション制御に関する研究」一戸健志(岩手大工)
「セラミック原料のメカノケミカル処理と粉体特性」阿部賢太郎(一関高専)

【材料化学】

「Cs ドープ酸化タンゲステンの形態制御と赤外遮蔽特性」安藤嘉彦(東北大多元研)
「有機低分子架橋による水溶性超常磁性ナノ粒子クラスターの合成と磁気応答性の制御」富樫貴成(東北大)

WPI)

「4級アンモニウム塩を利用したソルボサーマル法による単分散立方体状ITOナノ粒子の合成」佐々木隆史(東北大多元研)

「回収炭酸カルシウムの物理化学的特性とその利用」千葉洋一郎(岩手大院工)

「表面改質単分散磁性酸化鉄粒子の分散安定化」小田康史(東北大多元研)

「ソフト溶液プロセスによる酸化亜鉛の形態制御と特性評価」牛坊文洋(東北大多元研)

【電気化学】

「泳動電着法によるSnO₂ナノ粒子電極の作製およびその電気化学的特性」川村壮史(岩手大院工)

「界面化学結合型熱ナノインプリントリソグラフィにより得られる電解析出金パターン」永瀬康一(東北大多元研)

「ポリアクリル酸被覆黒鉛負極の充放電反応の考察」富士井大輔(岩手大院工)

「メナジオンを用いたデュアルメディエーター細胞イメージング」松前義治(東北大院環境)

「An investigation into the dissolution of Au in various electrolytes using an in-situ interference optical microscopy technique」Abhishek Lahiri(東北大 WPI)

「スマートグリッド実現へ向けたフェデレーションアーキテクチャによる電池劣化管理データベースの構築」伊藤智博(山形大院理工)

【環境化学】

「酸化Mn修飾Ni/Al₂O₃触媒を用いたバイオマスタールの水蒸気改質反応へのMn促進効果」石川千晶(筑波大院数理)

「廃水処理汚泥に対するフッ素溶出抑制剤の検討」玉木優作(山形大院理工)



栗原和枝支部長と熊谷直昭大会実行委員長を囲んでの受賞記念写真

5. 閉会式

閉会式 9月26日(日)

1. 大会実行委員長の開会挨拶
2. 日本化学会東北支部長の講評(9学協会支部長を代表して)
3. ポスター賞の発表・授与(プレゼンター・栗原支部長)
4. 次期実行委員長(及川英俊教授・東北大学多元物質科学研究所)の挨拶



司会:河田裕樹氏(岩手大人文社)



会場の様子



熊谷直昭 大会実行委員長



栗原和枝 日本化学会東北支部長



優秀ポスター賞の授賞式



及川英俊 次期大会実行委員長

6. おわりに

平成 22 年度化学系学協会支部長(各セッション講演者推薦担当)

日本化学会東北支部	栗原和枝(東北大多元研)
高分子学会東北支部	沢田英夫(弘前大院理工)
化学工学会東北支部	米本年邦(東北大院工)
有機合成化学協会東北支部	山口雅彦(東北大院薬)
日本分析化学会東北支部	安斉順一(東北大院薬)
電気化学会東北支部	末永智一(東北大院環境)
日本材料学会東北支部	上原拓也(山形大院理工)
繊維学会東北北海道支部	岡田修司(山形大院理工)
無機マテリアル学会北部支部	石田英輝(東北大院環境)

平成 22 年度化学系学協会東北大会実行委員会名簿

実行委員長	熊谷直昭(岩手大工)
庶務幹事	宇井幸一(岩手大工)*
会計	鈴木映一(岩手大工)*
委員	會澤純雄(岩手大工)
委員	大石好行(岩手大工)
委員	小川 智(岩手大工)
委員	門磨義浩(岩手大工)
委員	河田裕樹(岩手大人文社)
委員	北爪英一(岩手大人文社)
委員	佐々木昭仁(岩手県工業技術セ)
委員	芝崎祐二(岩手大工)
委員	嶋田和明(岩手大工)
委員	清水健司(岩手大工)
委員	七尾英孝(岩手大工)
委員	成田榮一(岩手大工)
委員	平原英俊(岩手大工)
委員	南 一郎(岩手大工)
委員	明 承澤(岩手大工)
委員	村岡宏樹(岩手大工)
委員	森 誠之(岩手大工)
委員	八代 仁(岩手大工)
委員	横田政晶(岩手大工)
委員	吉村泰樹(岩手大人文社)
委員	譯田真人(岩手大工)

日本化学会東北支部幹事長 蟹江澄志(東北大多元研)*
日本化学会東北支部事務局 菊地球実*

* 本報告書の編集作業

本報告書の内容の一部もしくは全てを無断で複製・転載することはできませんので、ご注意下さい。